

保護者・学生各位

新潟経営大学学長  
蛭名 保彦

麻疹（はしか）・風疹感染予防対策について（お願い）

平素は本学の教育研究活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、麻疹・風疹の大流行につきまして、本学ではまだ報告されておきませんが、県内大学では、2月の就職合同企業ガイダンスをきっかけに、数名の患者が出ました。7月現在、新潟県内で患者は報告されておきませんが、7～9月は発生率が高く、全国的にはまだ油断ができません。

麻疹・風疹は、感染力が極めて強く、空気感染するため、閉鎖的な空間（教室や体育館など）で感染者が1人出ると、抗体を持っていない人は、ほぼ90%の確率で感染します。抗体は、1度罹患すると終生獲得されます。しかし、予防接種を受けていない、もしくは接種が1回のみである、その他、罹患歴がなく、予防接種から10年以上経過している場合は、抗体がないと考え、医療機関にて抗体検査やワクチン接種するようお願いいたします。なお、感染予防、感染時の際の対応については下記の通りです。ご家庭での予防感染と拡大防止にご協力いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

1、麻疹・風疹予防について

麻疹の症状は、38～39度の高熱、咳、鼻水、のどの痛みといった風邪症状が3～4日持続します。その後、熱が微熱になり、顔面や首から現れた発疹が全身に広がるとともに、再度高熱が3、4日持続します。発疹は、出現後72時間程度持続し、5～6日程で皮がむけるように取れます。感染経路は空気感染・飛沫感染・接触感染と多彩であり、潜伏期間はおおよそ10～12日になります。他者への感染力は、37.5度以上の発熱や風邪症状が出現した1日目から解熱後3日が一番強いです。

風疹の症状は、感染から14～21日後の潜伏期間の後、37.5℃以上の発熱、全身性の斑状丘状の発疹、耳介後部などのリンパ節の腫脹が見られます。リンパ節の腫脹は3～6週間続きますが、いずれの症状も麻疹より軽度です。他者への感染力は、発疹出現の前後1週間が一番強いです。

2、麻疹・風疹に感染したら

(1) 37.5度以上の発熱が出ましたら、既往歴のない場合、麻疹・風疹も疑って下さい。外出は自粛し、医療機関に受診する場合、前もって麻疹・風疹の可能性あることを電話連絡して下さい。受診の際には、母子手帳等のワクチン接種歴を記入したものを持参して下さい。

(2) 大学(0256-53-3000)へ電話連絡して下さい。学校保健法により麻疹は下熱後3日を経過するまで、風疹は紅斑性の発疹が消失するまでは出席停止となっています。この期間は公欠扱いとなります。完治し登校する際には、「登校許可日」の記載された診断書を作成してもらって、学務課へ提出して下さい。

以上